



大森六中だより

令和7年 1月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155



良い年と
なりますように。



新しい年が何事もなく明けたことは、
昨年のことを思うと、有難いことだと思います。能登地方では今なお、厳しい生活を強いられている上に、記録的な大雪に見舞われていることに心を痛めます。

2学期の終業式では、新しい年を迎える準備として、心の大掃除のお話をしました。心の大掃除とは、自身の言動や行動の振り返りです。まず、4つの当たり前のことを当たり前にできていたか。4つ当たり前のこととは、「あいさつを心がける」「時間を守る」「身だしなみを整える」「約束を守る」ことで、その頭文字から「あじみや」と紹介しました。その上で、利他の心など「美しい心」をもつように努めたかを「泥かぶら」という絵本の話を紹介しました。

「泥かぶら」のお話は、その醜さのために村人から「泥かぶら」と呼ばれ、虐げられていた少女が、「美しくなりたい」と叫んでいたところ、通りかかった旅の老法師から美しくなるための教えを授かります。

その教えとは、

- 自分のことを恥ずかしいと思わないこと。

- どんなときも笑顔を絶やさないこと。
- いつでも人を思いやって行動すること。

この教えが少女の運命を変えるというお話です。

以上のことを参考に、身も心も清めて新しい年を迎えてほしいと伝えました。

そして迎えた1月8日の始業式では、美しい心をもつための3つの教えを改めて確認したあと、ある雑誌に掲載されていた、6つの「運がよくなる口ぐせ」という話を紹介しました。これは占いをする覆面の芸能人として有名なゲッターズ飯田さんの言葉です。

「それ、おもしろいですね」「結果的にこれでよかったね」「ためしにやってみよう」「私でよければ手伝いますよ」「変な人だな、もっと知ってみよう」「ぜひ、やらせてください」これらの言葉は、どんなことにも前向きに、積極的に関わっていかうとすれば、チャンスを掴むことができると、75,000人以上の人を無償で見てきた経験から発信されています。

生徒が皆、新しい年を迎えたこの機会に、自身をより良く変化させ、幸運を手に入れるよう祈ります。



※富士山の画像は1月10日本校屋上から撮影しました。

六中だよりは
HPからもご覧いただけます。

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

教科等横断的なカリキュラム編成に向けて

本校では、これまで様々な特色ある教育活動を実施してきました。その中でも「防災教育」と「平和学習」は今後も継続して実践していきたい教育活動の一つです。これまで各学年で実施してきたこれらの教育活動について、より系統性をもったものとなるよう校内研修会にて全体計画を作成しました。

ここがポイント

●防災教育プログラム

1年生：「自助」 2年生：「共助」 3年生：「公助」
自分のいのちを守る行動について学習した上で、身近な他者や遠く離れた被災地についても自分事として考えられるようステップアップしていく。

●平和教育プログラム

1年生：違いを知って受け入れる
2年生：身近な他者の実情を知り行動する
3年生：社会全体の平和を生み出し広げる
「平和＝戦争がない」ということだけにとらわれるず、教室にある課題（平和でない状況）についてどのように協力して解決に取り組むかを考えるところから、社会全体のことにについても自分事として考えることができるようステップアップしていく。



今月の行事報告

1、2年生 学年レク大会

12月末、1年生と2年生はレクリエーション大会がありました。各学年、レク系の生徒たちがレクの内容を計画し、ドッジボールや借り物競争、クロスパズルなどを楽しみました。得意不得意に関係なく、みんなが楽しめるようにレクの内容が工夫されていて、素敵な時間を過ごして年の最後を締めくくりました。



書初め展示

冬休み中に書いた書初めを各教室の廊下に掲示しました。学校から12人の作品が連合書道展で池上会館に展示されます。また各学年の代表が1月末の席書会に参加します。

